土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名

事業名 または 工事名　一般国道375号外道路災害防除工事に伴う測量・地質調査・設計業務委託

調査目的及び調査対象　道路 護岸

ボーリング名	B-1(測点No. 11)	**調査位置**	広島県三次市甲奴町小童地内			**北緯**	34° 40′ 32.300″
発注機関	広島県北部建設事務所			**調査期間**	2018年 11月 26日 ～ 2018年 12月 5日	**東経**	133° 03′ 57.640″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 373.40m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°	**使用機種**	**試錐機**	東邦D-1		
総削孔長	7.00m								**エンジン**	ヤンマーNFD12-K	**ポンプ**	東邦BG-2型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	373.00	0.40		礫混じり砂		茶灰				粗砂主体の路盤からなる	
2				礫混じりシルト質砂		褐灰		rdl		風化した粘板岩質の盛土からなる。 GL-1.7～2.0m間、コアは固結度が低く、空隙率が高い GL-2.5mおよび2.6m付近はコア痩せしている GL-2.9m付近は礫状で採取される	
3	369.90	3.50									
4	368.70	4.70		シルト混じり砂礫		暗青灰				粘板岩質の盛土からなり削孔中は全漏水する コアは砂礫状に採取されマトリクスはシルトよりなる	11/29 4.50
5	368.50	4.90		砂混じりシルト		茶褐				軟質な粘性土よりなる	
6	366.40	7.00		粘板岩		青灰				5～10cm間隔で亀裂が発達した粘板岩よりなる ハンマー軽打でコアは礫状に砕ける GL-4.9～5.0m間はコアは礫状で採取される	

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
3	1.15	1	1	1	3/300		
	1.45						
5	2.15	2	1	2	5/300		
	2.45						
2	3.15	1/200	1		2/300		
	3.45						
6	4.15	2	2	2	6/300		
	4.45						
→125	5.15	43	7/20		50/120	120	
	5.27						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					11/28
					11/29